

## 令和6年度文部科学大臣表彰（優秀教職員）受賞者功績等

## 1 教職員（優秀教職員）（23名）

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 数 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
美唄市立美唄中学校 教諭 いのうえ だいすけ 井 上 大 輔 （52歳）	27年	令和 5 年度	<p>長年にわたり、保健体育科教員として、継続的に授業改善に取り組み、生徒個々の課題に応じた学習活動ができるよう、創意工夫ある教育活動を展開し、指導の充実に尽力してきた。</p> <p>特に、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて1人1台端末をはじめとしたICT機器の効果的な活用場面を精選し、生徒の振り返りの充実、授業改善、主体的に運動に取り組む生徒の育成など、他の模範となる取組で空知管内における保健体育科の授業改善の充実に貢献している。市内中学校体力向上推進事業の推進教員として、連携事業の推進、主体的な運動環境整備等の取組、示範的指導法による小中連携など、その実践が高く評価され、令和5年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も探究型学習を実施するなど普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
北海道夕張高等学校 教諭 しま かな 島 加 奈 （38歳）	16年	令和 5 年度	<p>長年にわたり、高等学校教諭として、高等学校における特別支援教育体制の整備と充実に尽力している。</p> <p>特に、自校において特別支援教育コーディネーターを務め、障がい特性やそれに応じた対応方法などの事例について、その豊富な経験に基づく実践的かつ即効性のある取組を校内研修において共有することで、教員全体の特別支援教育の視点に基づく指導の充実や、校内の特別支援教育の体制整備の推進に大きく貢献しており、その実践が高く評価され、令和5年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も多くの事業や研修会において講師を務めるなど本道の特別支援教育の推進に努めている。</p>
恵庭市立和光小学校 教諭 もとおか いくみ 本 岡 育 美 （35歳）	13年	令和 5 年度	<p>長年にわたり、小学校教諭として、教科指導の改善・充実に努め、児童の確かな学力の育成に向けた校内研究の推進に尽力するとともに、管内教員の指導力向上に取り組んでいる。</p> <p>特に、前任校における校内研究では、「知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」の育成を単元計画に適切に位置付けた「東野小スタイル」の研究を進めるため、自ら提案授業を実施することで、校内の全教員の共通理解を図り、その成果を江別市学校課題研究発表会において管内の教員に提言するなど、授業改革に大きな成果を上げており、その実践が高く評価され、令和5年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も石狩教育研修センター主催ICT実技研修講座（初級）の講師を担うなど普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
恵庭市立恵明中学校 教諭 たかい あやか 高 井 彩 佳 （40歳）	17年	令和 5 年度	<p>長年にわたり、中学校教諭として、オールイングリッシュによる授業づくりを積極的に進めるなど、外国語科の授業改革及び実践に努め、各種調査結果を基にした指導方法の工夫・改善に尽力するなど、学力向上に向けた組織的な取組をリードし、同時に、若手教員の育成にも貢献している。</p> <p>特に、平成27年度は、管内において「グローバル化に対応した英語教育指導力向上研修」の講師として学級経営・教科指導等について助言を行うなど、管内の外国語科教育の充実に大きな成果を上げており、その実践が高く評価され、令和5年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も令和6年度生徒の英語力向上推進事業校の推進教員を担うなど、北海道全体へ教員の指導力向上を目的とした授業モデルの普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 数 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
共和町立北辰小学校 教諭 さとう こうすけ 佐 藤 皓 亮 (41歳)	19年	令和 5 年度	<p>長年にわたり、小学校教諭として、特別支援学級の担任や、域内の特別支援教育を担う教諭と連携し、特別支援教育に関わる教諭の知識や技能の充実に尽力するとともに、令和2年度から、体育専科教員活用事業の専科教員として、共和町内の児童の体力向上を推進する創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、特別支援教育の視座に立ったスモールステップの支援を体育の授業に取り入れ、導入段階で継続的に取り組むことができる動的ストレッチを町内全ての学校で実践、普及、定着させた。</p> <p>また、体育の授業にICTを導入し、児童が自分の体の動きを即時に確認できる機能を有効に活用することにより、主体的な学びを具現化するなど、当該教諭の体育専科教員としての取組は他の模範となり、その実践が高く評価され、令和5年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も自己研さんに努めている。</p>
倶知安町立倶知安中学校 教諭 やくわ ゆうた 八 鋏 勇 太 (36歳)	12年	令和 5 年度	<p>長年にわたり、中学校教諭として、体力向上の取組や運動に親しむ習慣づくりを実践し、前任校では、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の種目別において、全国・全道の平均を上回る数値を記録するなど、生徒の体力向上に貢献した。</p> <p>特に、町内の小学生に対してスキーや水泳の乗り入れ授業を行ったほか、令和元年度から、町の社会教育事業「かけっこ教室」の講師として、小学生が体と頭を使いながら理解できるよう、指導方法の工夫・改善を図り運動能力の向上に努め、運動の魅力を伝える活動を継続して行っており、この実践が高く評価され、令和5年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、小中連携の「倶知安プラン」を通して、体育分野に係る体力向上プラン等に基づいた授業作りを実践するなど、自己研さんに努めている。</p>
苫小牧市立錦岡小学校 教諭 ひがしやま しおり 東 山 志 穂 里 (38歳)	16年	令和 5 年度	<p>長年にわたり、小学校教諭として、学級経営力や教科指導力の向上に取り組み、近年は体育専科教員として優れた教科指導力を発揮し、児童の体力向上を目指した組織的な取組を推進する要としての役割を果たし、創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、新体力テストの結果を踏まえ、補強運動を取り入れたスモールステップによる授業改善に取り組むとともに、児童が休み時間に活用できるコートのグラウンドへの設置や縄跳びの技を表にして活動場所に掲示するなど、日常的に体を動かす意欲を喚起しながら学習したことと結び付ける取組を実践し、苫小牧市はもとより、管内に広く発信し、高い評価を得ている。</p> <p>また、苫小牧市教育研究所や胆振教育局が主催する研修会及び研修講座において、体力向上講座の講師を務め、児童が主体的に活動に取り組むための授業改善について提言を行うなど、その実践は高く評価され、令和5年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も「体育専科だより」での情報発信などの普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
登別市立幌別小学校 教諭 よしい まさひろ 吉 井 真 裕 (52歳)	26年	令和 5 年度	<p>長年にわたり、小学校教諭として、外国語を生かしたコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力の育成に取り組むなど、創意工夫ある教育活動を展開し、小学校における外国語教育の充実に尽力した。</p> <p>特に、コミュニケーション活動において、中学校区内の他校とオンライン交流を行うなど、児童が「相手意識」や「コミュニケーションの楽しさや意義」を感じられるように工夫した授業改善の取組は他の模範となっており、管内はもとより全道の小学校外国語教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、幌別中学校区をはじめとして、登別市内や胆振管内の小・中学校と連携を図った外国語教育に関する指導の充実に中核的な役割を果たすなど、その実践は高く評価され、令和5年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も自己研さんに努めている。</p>
函館市立椴法華中学校 栄養教諭 ぼうて ゆうび 棒 手 優 美 (32歳)	10年	令和 5 年度	<p>栄養教諭として、高い専門性と優れた実践力を発揮し、函館市内の児童生徒が、正しい食に関する知識と望ましい食習慣を身に付けるための指導に尽力した。</p> <p>特に、給食献立については、「食品ロスの削減」につながる学校給食メニューを立案し、児童への学習機会の提供と学校給食の充実に努めた。その後も、日々の研さんを重ねた功績や、ICTを活用した授業の実践が認められ、令和5年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、北海道学校栄養士協議会地区委員を務め、函館市における食育の充実・発展に向け、中核的な役割を担っており、児童生徒の健康増進と食育の推進に大きく貢献している。</p>
上富良野町立上富良野西小学校 教諭 とうどう あやか 藤 堂 彩 華 (34歳)	12年	令和 2 年度	<p>長年にわたり、小学校教諭として教材研究及び授業改善に取り組み、児童に求められる資質・能力を確実に身に付けさせる授業の充実に尽力するなど、創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、上川管内国際理解教育研究協議会における子どもと世界をつなぐ教材づくりの実践や、他者との積極的な関わりを取り入れた学習場面の構成の工夫など、ともに問題を解決していく学習活動の実践は他の模範となっており、管内はもとより本道の国際理解教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、旭川市授業力向上プロジェクト「外国語チーム」では、外国語活動及び外国語科の指導計画の作成に中核的な役割を果たすなど、その実践が高く評価され、令和2年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も学校の中核として上富良野町教育研究大会で道徳の授業者として実践を積むなど、自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 数 年 数	道教育 実践表 彰年 度	主 な 実 践
旭川市立中央中学校 教諭 やまもと あい 山 本 愛 （45歳）	20年	令和 5 年度	<p>長年にわたり、中学校教諭として、生徒が抱える課題を背景を含めて理解することに取り組み、きめ細かな学級経営の充実に尽力するなど、創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、初任段階教員のメンターとして、豊富な経験に基づく指導・育成の取組や、他の教員との協働による高等支援学校等への進学を見据えたキャリア教育の充実など、チームとして特別支援教育に当たる取組は他の模範となっており、本道の特別支援教育の振興と充実に大きな成果を上げた。</p> <p>また、北海道立特別支援教育センターと連携を図った「特別支援教育基本セミナー」において、全道各地の若手教員を対象に授業づくりに関する実践発表を行う中核的な役割を果たすなど、その実践は高く評価され、令和5年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も特別支援教育相談員として旭川市の特別支援教育の中心的役割を担うなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
北海道旭川工業高等学校 教諭 みうら まなぶ 三 浦 学 （37歳）	10年	令和 5 年度	<p>高等学校教諭として、総合学科としての学校の魅力化・特色化に向けた教育課程の改善を行うとともに、ICTを活用した教育活動の推進に積極的に取り組んだ。</p> <p>特に、令和3年度からは総合学科である現任校の教務主任として、普通科科目を中心に編成した「未来のしんろ系列」の開設に当たり、計画の立案や内容の検討を行う中心的な役割を担い、校内及び地域の合意を得るなど、ミドルリーダーとしての職責を果たした。</p> <p>また、保健体育科の授業においては、映像の再生遅延装置を活用し、自身の動作を即時に確認できる仕組みを構築するなど、ICTを活用した効果的な授業実践を行っており、その実践が高く評価され、令和5年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、認定教育者資格取得研修（Google Workspace for Education）を受講し、授業や業務で活用するなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
網走市立東小学校 教諭 たにぐち ひろと 谷 口 寛 人 （39歳）	15年	令和 5 年度	<p>長年にわたり、小学校教諭として、組織的な教員研修の充実に努め、近年では1人1台端末を効果的に活用した授業改善や校務におけるICTの効果的な活用等について、所属校のみならず網走市内、オホーツク管内の教育に大きく寄与している。</p> <p>特に、令和2年度から網走市学校ICT活用推進委員として、年間を通して子どもたちのICTを活用する能力の育成目標を示した「情報活用能力体系表」を作成するなど、市内の小・中学校におけるICTの効果的な活用推進において、中核的な役割を担っている。</p> <p>また、所属校が主体校となっている地域連携研修では、研修部の中心として網走市内の小・中学校へ情報発信・授業公開を行うなど、管内教育の推進・発展に尽力しており、その実践が高く評価され、令和5年度に「北海道教育実践表彰（教職員表彰）」を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、今年5月に行われた「EDIX東京」（教育に関する製品やサービスが出展する教育分野日本最大級の展示会）での実践発表など、ICTを有効活用した授業改善と校務運営について、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
佐呂間町立佐呂間小学校 教諭 かわい たつや 河 合 建 弥 (34歳)	11年	令和 5 年度	<p>長年にわたり、小学校教諭として、特別活動を軸とした学級経営や、児童が主体的に学習を進める教科指導に取り組み、特に、北海道特別活動研究大会等における特別活動部会の発表者として、1人1台端末を活用し振り返りを通じた学びの継続による児童の学ぶ意欲を高める取組などについて発信し、管内及び道内の教職員の資質向上に寄与した。</p> <p>特に、令和5年度北海道ふるさと教育・観光教育等推進事業協力校の授業者として、総合的な学習の時間において、佐呂間町教育委員会及び佐呂間町経済課商工観光係と連携・協力し、特産物のかぼちゃについて町との関わりを学ぶ学習など、地域の人材や教材等を積極的に活用する授業実践が高く評価され、令和5年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、令和6年度北海道ふるさと教育・観光教育推進事業実践校の授業者として、ふるさとの魅力を道内に発信するなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
北見市立光西中学校 教諭 わたなべ ともあき 渡 辺 友 章 (36歳)	13年	令和 5 年度	<p>長年にわたり、中学校教諭として、道内の数学科評価方法の研究に取り組んでおり、その成果を北海道算数・数学教育研究大会において「問題解決の授業における個人思考のあり方に関する実践」として提言するなど、道内の算数・数学教育の充実に寄与した。</p> <p>特に、網走地方教育研修センター「算数・数学科教育」の講師として、北見市内の中学校における講座の運営や授業実践のほか、オホーツク教育局とオホーツク管内教育研究団体連絡協議会が共同で開催している夏・冬の教育セミナーでの実践事例発表など、管内数学教育の推進・発展に尽力しており、その実践が高く評価され、令和5年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、令和6年8月に開催された「第106回全国算数・数学教育研究大阪大会」に参加し、「『主体的に学習に取り組む態度』の評価方法の工夫」と題した提言を行うなど、研究の成果を全国に普及啓発するとともに、管内の数学教育の第一人者として自己研さんに努めている。</p>
北海道津別高等学校 教諭 うえだ ひろえ 上 田 弘 恵 (48歳)	24年	令和 5 年度	<p>長年にわたり、高等学校教諭として、生徒の資質・能力の育成に取り組み、社会に開かれた教育課程の充実に尽力するなど、創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、総合的な探究の時間における、地域課題を探究する「つべつ学」の実践において、町役場や地域のNPO法人との連絡調整や、探究学習を通して身に付けさせる資質・能力を明確にした年間計画やシラバスの工夫に取り組むなど、全教員による教科横断型学習プログラムの活用を図った取組は、北海道における地学協働活動に関する教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、探究活動の評価の方法についても検討し、レーダーチャートによる生徒の自己評価システムを開発するなど、GIGAスクール構想との連携を図った探究学習に関する指導の充実に中核的な役割を果たし、研究成果の提言を行うなど、その実践は高く評価され、令和5年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、地域との産官学連携を推進するなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
音更町立音更小学校 主幹教諭 もり けいすけ 森 圭 介 (41歳)	19年	令和 5 年度	<p>長年にわたり、小学校教諭として、子どもたちが楽しく学べる環境づくりに励み、子ども一人一人の資質・能力の向上に努めてきた。</p> <p>特に、音楽の学習指導において、高い専門性と指導力を有し、令和4年度の第64回北海道音楽教育研究十勝・帯広大会においては、小学校器楽の研究実践・授業提供の発表者として、全国・本道及び管内の音楽の授業改善の充実に大きな成果を上げた。</p> <p>また、校内において組織的な教職員のICT活用能力向上に向けて尽力している姿が、本校のみならず、町内及び管内においても高く評価され、令和5年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、地学連携協働に向けて学校と地域をつなぐ懸け橋として尽力するなど、日々自己研さんに努めている。</p>
足寄町立足寄小学校 教諭 ほどの じゅんき 程 野 純 貴 (37歳)	14年	令和 5 年度	<p>長年にわたり、小学校教諭として、子どもが自分自身の言葉で見方や考えを表現するための力の育成に向けた、子どもを主体とした授業デザインについて、研究を深めている。</p> <p>特に、北海道教育大学釧路校の非常勤講師として「初等国語科教育法」の講座を担当し、教員を目指す学生に対して、授業づくりの具体的な構想や単元構成のポイントを教授するとともに、十勝管内の初任段階教員研修の講師として若手教員の育成に努めるなど、管内の国語教育の充実に大きな役割を果たしており、その実践が高く評価され、令和5年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、自校の学力向上推進コーディネーターとして、学力向上に貢献し視点を明確にした校内研修を実施するなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
帯広市立帯広第五中学校 教諭 かみした ともゆき 神 下 智 行 (39歳)	16年	令和 5 年度	<p>長年にわたり、中学校教諭として、教育活動全体を通じた道徳教育の充実に向けた取組を推進するとともに、学習指導要領の内容や、改訂の主旨を踏まえた道徳の授業の在り方を追求するなど、管内の中学校の道徳の授業改善と充実に大きく貢献してきた。</p> <p>特に、道徳の授業を中心に「教育活動全体を通じた道徳教育」、「学級・学年・教科経営」、さらには「部活動経営」まで、一貫して生徒の心の教育の充実に努めてきたことは、この間、出会ってきた多くの生徒や保護者の信頼を得る確固たる基盤になっている。</p> <p>また、ミドルリーダーとして、生徒が「楽しい」、「分かる」を実感する理科の授業を公開したり、働き方改革に係る改善案を積極的に提案するなど、学校改善に向けた組織的な取組について、全教職員の共通理解を図りながら推進しており、管理職や同僚、保護者からの信頼も厚い。その実践が高く評価され、令和5年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、真摯に授業改善などを重ね、自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
北海道帯広緑陽高等学校 教諭 みやかわ のりみつ 宮 川 尊 充 (43歳)	21年	令和 5 年度	<p>長年にわたり、高等学校教諭として、情報科における探究的な学びを推進し、ICTを効果的に活用した生徒の情報活用能力の育成に努めている。</p> <p>特に、「S—TEAM教育推進事業」授業セミナーにおける教科指導スペシャリストとして、道内各地にて実践発表を行い、1人1台端末を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた授業改善の取組を全道的に広く発信し、高い評価を得ている。</p> <p>また、令和3年度から、高等学校教育課程編成・実施の手引「情報」の執筆者として、学習指導要領の趣旨を踏まえ、教科「情報」における探究的な学びを推進するための方策を示し、本道の情報教育の改善・充実に尽力しており、その実践が高く評価され、令和5年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、道内各地での実践発表を継続して実施しており、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
釧路市立城山小学校 教諭 こだま ちさと 兒 玉 千 里 (33歳)	10年	令和 5 年度	<p>小学校教諭として、優れた授業実践と学級経営を行い、児童が「主体的・対話的で深い学び」を実現するための創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、研修部長として道徳科の授業改善における中心的な役割を担い、指導観の明確化と指導方法の工夫に重点を置き、その成果を体系的にまとめるなど、学校全体で共通理解を図った授業改善に貢献している。</p> <p>また、日頃からの確かな教材研究や柔軟な単元計画に基づく優れた授業実践、ICT機器の活用による学習意欲の喚起のほか、学習の計画や成果の視覚化を図るなど、授業と連動した家庭学習指導により児童が自ら進んで学ぶ力を身に付けることを目指す指導実践に成果を上げており、その実践が高く評価され、令和5年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、道徳教育推進リーダーや釧路教育研究センター学習指導・開発研究グループ委員として自己研さんに努めている。</p>
別海町立別海中央小学校 主幹教諭 おおば よし 大 場 佳 (54歳)	32年	令和 5 年度	<p>長年にわたり、小学校教諭として、校長の示す学校教育目標の実現に向けた教育課程の改善に向けて、「めざす子ども像会議」をリード・実施し、年間を通じて、日頃から本校の中心として重点や方向性を確認しながら、検証改善サイクルを意識し教育課程の改善に努めている。</p> <p>特に、各校務分掌のリーダーや学年主任から構成される「校務運営委員会」を主宰し、様々な場面において同僚職員への指導・助言をするなど、自校の「学び続ける職員集団」の風土醸成に力を尽くしている。</p> <p>また、自校をはじめ町内に初任段階教員が多いことから、近隣校と連携し初任者研修及びメンター研修を主宰し、地域の初任段階教員のみならずミドル層の人材育成にも貢献するなど、他校校長等、関係者からも高く評価されており、令和5年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、より多くの周辺校を巻き込んだメンター研修会を実施するなど、自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
北海道標津高等学校 教諭 すずき ゆうじ 鈴 木 祐 二 (52歳)	29年	令和 5 年度	<p>長年にわたり、高等学校の理科教諭として、学習指導要領への深い理解と授業改善に対する熱意ある研究により、教育活動の充実・発展に資する取組を行うとともに、現任校では、若手・後輩教員等に対して、積極的な指導助言を行い、組織力向上に寄与するなど、高い信頼を得ている。</p> <p>特に、防災・減災教育においては、「標津町オリジナルHUG」制作の中心的役割を担い、完成後には、標津町内のこども園、小学校及び中学校において、「標津町オリジナルHUG」を活用した高校生による出前授業を実施することにより「地域循環型防災教育」の礎を築くとともに、標津町との連携により生徒会が東北地方等の被災地域を研修し、その研修成果を発信させる取り組み等が高く評価され、令和5年度に北海道教育実践表彰(教職員表彰)を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、標津町との連携により、1学年全員での東北視察研修を実現するなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>

※ 年齢及び教職員経験年数は、令和6年(2024年) 4月1日現在

2 教職員（若手教職員等奨励賞）（9名）

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
<p>寿都町立寿都小学校 教諭 ちば しんや 千葉 慎也 (31歳)</p>	<p>9年</p>	<p>令和 5 年度</p>	<p>小学校教諭として、板書型指導案を活用した誰もが分かりやすい実践の紹介及び活用の普及に取り組み、校内の授業づくりの充実に尽力するなど、創意工夫ある教育活動を展開している。 特に、道教委の学力向上推進事業「組織力強化会議」において、学力向上ロードマップを活用した組織的な授業改善の取組や、検証改善サイクルの短期化・迅速化・継続化に係る実践発表を行うなど、管内の学力向上の取組の充実に大きな成果を上げている。 また、全学年の算数科の単元計画を作成し、校務共有フォルダで蓄積・共有することで、働き方改革にもつながる持続可能な研修の取組を定着させるなど、管内全体の教育に大きく貢献しており、その実践は高く評価され、令和5年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。 上記実践表彰を受賞後も、自己研さんに努めている。</p>
<p>北海道苫小牧東高等学校 教諭 さとう ゆうき 佐藤 優樹 (36歳)</p>	<p>9年</p>	<p>令和 5 年度</p>	<p>高等学校教諭として、地域の小・中学校教職員に向けた実践発表等を通して学校の課題の共有や改善に向けた取組を発信するなど、地域の児童生徒の資質・能力の育成を推進した。 特に、前任校においては、「エビデンスに基づく資質・能力育成事業」の実践校として、枝幸町内の中学校と連携した学習調査等の結果の分析やヒアリングを踏まえた校内研修や授業改善に取り組み、宗谷管内E B E協議会において実践発表を行うなど、宗谷管内の学力向上の取組に貢献した。 また、I C Tを活用し、管内の学校に授業改善事例を発信するなどの実践が高く評価され、令和5年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。 上記実践表彰を受賞後も自己研さんに努めている。</p>
<p>北海道登別明日中等教育学校 教諭 さわい えり 澤井 愛里 (30歳)</p>	<p>6年</p>	<p>令和 5 年度</p>	<p>高等学校教諭として、キャリア教育の全体計画の体系化及び学内外の進路相談会や進路ガイダンスの企画と運営を進めた。 特に、前任校においては、オホーツク地域の「高校生向け出前型ワークショップ」のファシリテーターとして、多種多様な業種の職業人と連携して、生徒の多様な職業観を育成し、地元で仕事をすることの大切さを学ぶ活動を行った。 また、総合的な探究の時間では、校内委員会の発足時から中心として活躍し、地域の要望により官・学・民が協働する「特産品開発プロジェクト」を立ち上げ、コーディネーターとして外部講師の招へいや商品開発の際に必要な教科横断的な取組の調整を行ったほか、ミドルリーダーとして学校運営にも積極的に参画し、自校の教育活動の推進に大きく貢献するなど、その実践が高く評価され、令和5年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。 上記実践表彰を受賞後も自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
北海道函館中部高等学校 教諭 すがの まさふみ 菅 野 真 文 (28歳)	6年	令和 5 年度	<p>高等学校教諭として、所属校のICT環境の整備推進に貢献しており、ICT環境の整備や利活用体制の構築などの業務を担う「ICT活用検討委員会」の委員長として、生徒の学習におけるタブレットPCの利活用や、遠隔授業システムの整備などを推進し、オンラインによる授業評価システムの構築に寄与した。</p> <p>また、自身の担当教科である地理歴史・公民におけるICTを活用した授業実践や授業研究にも積極的に取り組み、授業の振り返りや、話し合い活動において、「Google Classroom」や「Google Jamboard」を活用し、生徒が主体的に取り組むことのできる学習課題の工夫や、授業に参加しやすい環境づくりなどで成果を上げており、その実践が高く評価され、令和5年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、ICTを活用した教育活動について自己研さんに努めている。</p>
上富良野町立上富良野小学校 教諭 ふじい つかさ 藤 井 司 (33歳)	9年	令和 5 年度	<p>小学校教諭として、児童に寄り添った学級経営を基盤として、校内研修等で算数科をはじめとした様々な教科においてICTを活用した授業づくりに取り組み、創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、「上川管内教育研究会南部地区研究大会」において、数学的活動の充実や学術的に問題を発見・解決する過程を重視した授業を公開するなど、管内の教員の授業力向上に向けた取組は他の模範となっている。</p> <p>また、上川管内教育研究会、上富良野町教育研究会と連携を図り、自校の算数教育の指導の充実に中核的な役割を果たすとともに、令和5年度の教科用図書調査員（小学校算数）を務めるなど、その実践が高く評価され、令和5年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、上川管内教育研究会でワークショップを実施するなど、ICTを活用した指導について自己研さんに努めている。</p>
北海道小平高等養護学校 教諭 おおくぼ じょうた 大久保 城 汰 (33歳)	9年	令和 5 年度	<p>特別支援教育コーディネーターとして、専門的知見を生かし、校内及び管内の特別支援教育の充実に尽力している。</p> <p>特に、パートナーティーチャー派遣事業においては、管内の各学校を訪問し、児童生徒の実態を把握した上で、障がい種や特性に応じた支援の在り方について、研修を通じて教員に具体的に助言するなど、管内の特別支援教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、管内の自立支援協議会・療育部会と連携を図り、障がい者の社会的自立と支援に関する指導の充実に中核的な役割を果たしており、その実践が高く評価され、令和5年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、現在は生徒指導主事として、生徒理解についての啓発及び自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
更別村立更別中央中学校 教諭 こだま かずむね 児 玉 和 宗 (31歳)	9年	令和 5 年度	<p>中学校教諭として、外国語科の授業改善に取り組み、学校力の向上に尽力するとともに、生徒の英語による表現力向上に向けた創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、令和4年度には、E-Lineセミナーの中核教員として、更別村内の小・中学校の外国語教育における連携の中心となり、児童生徒の発達の段階に応じた5つの領域の目標を設定した小中連携型CAN-DOリストの作成や小学生と中学生が英語を通して交流する活動を実践するなど、外国語教育における小学校と中学校の円滑な接続に取り組んでいる。</p> <p>また、主体的に学ぶ姿勢やコミュニケーション能力の育成を目標に単元デザインの充実を図った授業実践の展開を通し、自校生徒の英語力向上に成果を上げており、その実践が高く評価され、令和5年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
北海道帯広三条高等学校 教諭 せきや のぞみ 関 谷 望 (30歳)	8年	令和 5 年度	<p>高等学校教諭として、積極的にICTを活用して「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善の実践に努めている。</p> <p>特に、教科指導においては、過去の新聞をデジタルデータで準備し、議論の材料にするなど、実感のある理解につなげているほか、生徒同士の議論や学び合いでは、各自の作業やまとめをリアルタイムで共有できる仕組みをつくるなど、質の高い学びの実践をしている。</p> <p>また、学校設定科目（アイヌ学）をマネジメントして新しい取組やアイデアを盛り込んで授業内容の深化を図り、令和3年度「人権教育研究推進事業」の推進役として大きな成果をあげており、その実践が高く評価され、令和5年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
北海道芽室高等学校 教諭 つぶはり りほ 粒 針 里 穂 (32歳)	8年	令和 5 年度	<p>高等学校教諭として、教科の実践的指導力と教育的愛情を兼ね備え、創意工夫ある教育活動を展開しており、国語の教科指導においては、学習指導要領で示された目標及び内容を十分理解した上で、年間の指導と評価の計画を立て、日々の授業を実践している。</p> <p>特に、授業中の言語活動の中で、他者と関わり合いながら自分の考えなどを伝え合う活動を重視しており、社会生活に必要な国語力やコミュニケーション能力の育成に尽力している。</p> <p>また、令和4年度授業研究セミナー（道東ブロック・国語）では、授業者として、指導と評価の一体化に向けた工夫改善の成果の普及に努めており、その実践が高く評価され、令和5年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、探究的な学びの充実に向け、自己研さんに取り組んでいる。</p>

※ 年齢及び教職員経験年数は、令和6年(2024年) 4月1日現在